# MACS 通信 - 2020 年 10 月号 -

私たちは 幼児から高齢者までの豊かな生活空間を研究 実践するために松山市在住の異業種の女性たちで作った NPO 法人です。 私たちに共感し仲間に加わってくださる方たちの輪を少しでも広げる為に 私たちの活動をご紹介する JMACS 通信を季刊で発行しています。 皆さんのご意見 情報をお待ちしています。

#### 【 地域密着型サービス外部評価事業 】

外部評価は、6月に新型コロナウイルス感染の警戒 レベルが縮小期に移行したことを受け、訪問調査を開始しました。調査員研修についても **ZOOM** を使用して、月に1回行っています。

現在、各事業所の感染防止対策のルールに従い調査を行っているため、ユニット内への立ち入り制限がある場合がほとんどです。その場合、十分な視察調査ができない項目は、「評価困難」となります。

「食事を楽しむことができる支援」「入浴を楽しむ ことができる支援」この2項目は「楽しむことができ る」がキーワードになっています。このような時に は、特に大切にしたい項目です。

### 【 福祉サービス第三者評価 】

JMACS では今年社会的養護関係施設 2、保育所 1 の評価を受託しました。事業所・評価者とともに福祉サービスの質の向上に向けて取り組んでいます。第三者評価は、サービスの振り返りに大変役立つ制度です。今年度の評価結果は、今年度末には愛媛県福祉課・WAM ネット等でご覧いただけます。

### 【 介護サービス情報公表制度 】

今年度の介護サービス情報公表制度は、74件の事業所に調査に伺います。また、電話での公表促進アプローチにも取り組むことになりました。7月に行われた調査員研修会では、県長寿介護課担当者に講師をお願いし調査にむけて情報を共有しました。調査結果はhttp://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/でご覧いただけます。

## 【遊友学舎】

10月25日に、半年間開催できないでいた、子 ども向けの講座を再開しました。科学実験工作教室 として、「関川の岩石を観察して標本を作ってみよ う」という内容ですが、16名の募集に対して36名 もの申込があり抽選になりました。子ども向けのイ ベントなどが開かれずにいたので、子ども達も講座 の再開を待っていたのですね。もちろん講座はコロ ナ対策をきちんとして、人数が多くならないよう に、保護者同伴は無しにしました。その代わり、講 師の他に指導の大学生を5人に増やしました。子ど も達はみんな熱心に取り組んでいました。11月には 木工教室やコンサートなども開催します。9月上旬 には、来年度入会希望者への説明会を行いました。 お陰様で、今年も多くの方々が来て下さいました。 申し込んでいただいた方から、レギュラーとスポッ ト会員も合わせて、11人にきていただける予定で す。







特定非営利活動法人 JMACS (ジェイマックス)